

しげのぶ清流園地域連携推進会議議事録

- 1 日 時 令和7年6月23日（月）13:30～15:00
- 2 場 所 しげのぶ清流園多目的室
- 3 出席者 【構成員】
田邑一郎、白石雅弘、中川善文、宮崎修次、相原宗正、林和子（新規）
【施設職員】
森脇信介、鷹尾健介、森本孝幸、野中三世

愛媛県社会福祉事業団地域連携推進会議規程第3条第2項に規定する定数を満たしていることを確認し、同規定第3条第3項の規定に従い、議事進行を園長が行う。
新規構成員も参加していることから、自己紹介を各自行った後、同会議の目的について、厚生労働省の「地域連携推進会議の手引き」等を参考にして園長が説明し、構成員内で再確認する。

4 議 案

- (1) 施設の状況について
- ・ 令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画
 - ・ 令和6年度収支決算書
- (2) 利用者の権利擁護について
- ・ 令和6年度事故発生状況
 - ・ 令和6年度虐待防止の取組み
- (3) 地域における障害者支援施設の役割と連携について
- (4) その他

鷹尾介護課長

議案（1）施設の状況について

- ① 令和6年度事業報告の説明を行う。
- ・ 医療的ケアが必要な利用者等に対する重度障害者支援体制の構築
 - ・ 老朽化した特殊浴槽等の入替え
 - ・ 利用者が楽しみながら行える機能訓練の実施
 - ・ 人材確保等を目的とした専門学校等との交流会の実施
 - ・ 地域連携推進会議の実施
 - ・ 送迎及び外出支援の効率化のため福祉車両の増台
- ② 令和7年度事業計画の説明を行う。
- ・ 利用者ニーズに基づく重度支援体制等の構築

- ・ 質の高いサービス提供のための福祉人材の育成及び定着支援
- ・ 利用者の多様化に対応する知識・技術の向上と入所利用者の確保
- ・ 虐待を発生させない体制づくりの推進

野中主査

議案（１）施設の状況について、しげのぶ清流園の令和６年度収支決算書の説明を行う。

- ① 収入は、344,371,327 円
- ② 人件費は、229,933,443 円
- ③ その他の支出と合わせて収支差は、29,054,055 円

森本介護係長

議案（２）利用者の権利擁護について令和６年度の事故発生状況と虐待防止の取組みを説明する。

- ① 事故発生件数と事故発生時間帯、事故の内容、事故発生場所、事故の要因、事故発生部署について
 - ・ 事故発生件数は 81 件
 - ・ 一番多い事故発生時間帯は 12:00～18:45 で 29 件
 - ・ 一番多い事故の内容は投薬・誤薬で 27 件
 - ・ 一番多い事故発生場所はリビングで 27 件
 - ・ 一番多い事故の要因は職員の確認・注意不足で 64 件
 - ・ 一番多い事故発生部署は施設入所支援事業で 68 件
- ② 障がい者虐待発生件数は 0 件
- ③ 虐待防止委員会について
 - ・ 月 1 回開催
 - ・ 構成委員：園長、介護課長、看護師、介護員
 - ・ 内容：全国的な虐待発生件数や事例の確認、虐待防止研修の企画立案・実施等
- ④ 身体拘束適正化委員会について
 - ・ 月 1 回開催
 - ・ 構成委員：園長、介護課長、看護師、介護員
 - ・ 内容：個別支援計画更新利用者を対象に身体拘束事項の有無を確認、加えて拘束にあたりそうな事案があれば、解除または一時的なものにならないか随時検討を行う。

森脇園長

- ① 昨年度まだ努力義務であった地域連携推進会議を開催したことにより、そのプロセスと構成員、会議、見学会の内容等について、9 月に身体障害者施設協議会の全国大会で発表することを報告する。
- ② 今年度法人としてリクルーター制度を導入し、人材の確保に努めること及び業務の効率化を図るため ICT 機器の導入について考

えていくことを説明する。

議案（3）地域における障害者支援施設の役割と連携について、各委員の考えを聞く。

- 森脇園長 社会福祉法人の障害者支援施設である当園は、地域の中で何らかの役割を担っている必要がある。それぞれの委員の皆様の地域福祉等に関する意見を聞き、今後の取組みの参考にさせていただきたい。
- 中川構成員 学校、保育園等は、防犯上の関係から地域住民が気軽に支援に入れる場所ではなくなっている。また、保護者自体が地域や学校で公共の役割を担うことに抵抗を感じる時代ともなっている。
- 宮崎構成員 新型コロナウイルスも収束して、特別支援学校と小中学校等との交流は以前と同じように行えるようになってきている。
- 森脇園長 人材不足の課題を抱え法人としても人材確保の取組みを行っている中、当園と福祉専門学校との交流会を行った際、学生の希望を聞き、隣接している特別支援学校の見学をプログラムの中に組み込ませてもらう等している。
- 宮崎構成委員 人材確保という点では、特別支援学校には現在 180 名の職員が勤務しているが、他業種と同じで看護師等の確保は難しい状態にある。
- 林構成員 3K等のイメージの影響もあり、人材不足が介護業界で課題となっているが、ICT機器の導入等により作業の効率化を図ることで現場の疲弊を解消していくと説明を聞き安心した。また、地域福祉については、東温市職員の半数以上が市外から通勤している現状にあり、それぞれの地域で何らかの役割を担うように勧めている。
- 相原構成員 以前は神社の敷地内で地域の大きな行事として「ジャズの夕べ」を開催していたが、新型コロナウイルスの流行以降行っていない。ただ、「夏越祭」等の行事は行っている。
- 白石構成員 人材の確保、離職防止等については、どの業種も頭を悩ませている。利用者の高齢化により、病気等で心身の状態に不安も見られるため、説明にあった夜間の見守り装置の設置等は進めてもらいたい。また、事故についても十分対策をとり発生防止に努めてもらいたい。
- 中川構成員 しげのぶ清流園の利用者が参加できるような地域の行事や活動があれば、紹介しますので是非参加してもらいたい。
- 森脇園長 議案（4）その他について
- ・ 会議全体を通して質問を受けるが構成員からは特になし。
 - ・ 7月12日にしげのぶ清愛園で行われる「夏まつり」を紹介する。
 - ・ 6ヶ月程度後に施設見学会を開催することを予定していて、構成員の皆さんには前もって連絡して日程調整を行う。
- 森脇園長 会議を閉会することを伝える。